

# SL<sub>Y</sub>DIF<sub>I</sub> でらくらくスライド作成

monaqa

GitHub: <https://github.com/monaqa>

2021 年 6 月 6 日

# フレーム作成

フレーム：スライド資料の 1 ページ 1 ページに値するもの  
フレーム：スライド資料の 1 ページ 1 ページに値するもの  
フレーム：スライド資料の 1 ページ 1 ページに値するもの  
フレーム：スライド資料の 1 ページ 1 ページに値するもの  
フレーム：スライド資料の 1 ページ 1 ページに値するもの

- フレーム：スライド資料の 1 ページ 1 ページに値するもの
- SLIDEFILE では 3 種類のフレームを区別する
  - 見出し：スライド全体の題目，発表者名などを載せるフレーム
  - セクション見出し：セクションのタイトルを載せる
  - 本文：通常のフレーム

はじめに

# SL<sub>Y</sub>DIF<sub>I</sub>: SAT<sub>Y</sub>SF<sub>I</sub> のスライド作成用パッケージ

- SAT<sub>Y</sub>SF<sub>I</sub>
  - 静的型付き関数型言語ベースの新たな組版処理システム
  - 普通の文書作成時にはそこまで関数型言語を意識しなくてよい
  - パッケージの記述に用いる構文は OCaml 風
- SL<sub>Y</sub>DIF<sub>I</sub>
  - SAT<sub>Y</sub>SF<sub>I</sub> でスライドを作成することができる